

ロータリー囲碁同好会

Go Playing Fellowship of Rotarians GPFR



**Go Playing Fellowship
of Rotarians**

ロータリー囲碁同好会

NEWS LETTER

No. 16 2010年6月1日 発行

ベスト4に山田、大塚、加藤3氏

第11回ロータリー清州国際囲碁大会

初級クラスで台湾が初栄冠に



表彰式終了後に日韓台3カ国の参加者で柳貴鉉韓国支部長筆の扇子を手に記念撮影。中央に柳支部長夫妻、左に役員の新藤信之日本支部長、石井良昌名誉会長代理。夫妻右に上級者優勝の李在允会長、游長和台湾支部長、初級者優勝の楊敏盛前会長（韓国清州市 2010・4・18）

< 第11回ロータリー国際囲碁大会結果 >

於 韓国清州市 2010年4月18日

上級者クラス(五段以上)

優勝 李 在允六段(韓国・大邱東信)
 準優勝 山田 清六段(長門)
 3位 大塚 和彦六段(大垣)
 3位 加藤 碩孝五段(名古屋東山)

中級者クラス(二段～四段)

優勝 徐 仁洙四段(韓国・大邱囲碁)
 準優勝 権 寧爽三段(韓国・韓水)
 3位 韓 美愛四段(韓国・大田東)
 3位 李 圭鶴三段(韓国・忠州中原)

初級者クラス(初段まで)

優勝 楊 敏盛初段(台湾・桃園)
 準優勝 游 長和初段(台湾・大園)

国別対抗戦

優勝 韓国
 準優勝 日本

3位 陳 祥來初段(台湾・台中港西南) 3位 台湾
3位 李 宇權初段(韓国・忠清中原)

李在允会長の連続優勝も日本善戦光る

初遠征の新藤支部長も笑顔に

来年開催の台湾チームも初級クラスで奮戦

ロータリー囲碁同好会（GPFR）主催の「第11回ロータリー国際囲碁大会」は4月18（日）、韓国清州市で行われ、上記の大会結果のように久しぶりの日本チームの善戦ぶりが光り、昨年の神戸大会で初采配に臨みながら韓国チーム独占に意気消沈した新藤信之日本支部長（東京立川こぶし）も、初の海外遠征で安堵の笑顔でした。

国際囲碁大会は2000年3月から日本、韓国、台湾の順で開催され、韓国の開催地は釜山で1回、大邱で2回行なわれ、今回の清州市はGPFR会長の李在允 PDG（韓国・大邱東信）の後を受けて韓国支部長になった柳貴鉉 PDG（韓国・東清州）の出身地であることから、地元の3740地区をあげての大掛かりな大会となりました。

清州市はソウル市の南方120キロ、仁川国際空港から京釜高速道路で2時間30分、人口62万人の忠清北道の道庁で、新羅時代に西原京が置かれ、百濟、高句麗三国で軍事拠点として絶えず取り合いの地になっていたそうです。韓国内では、金属活字「直指」の印刷文化と、教育の町として知られ、空軍士官学校をはじめ10大学が集中しており、郊外には中国と結ぶ国際空港があります。

といっても、参加者の多くは初めて耳にする地名で、清州はチョンジュと呼び、良く似た発音の別の都市があって、案内書では行き先を日本語読みで「チョンジュ」とは発音せずに、必ず漢字で「清州」と書いて確認するようにとありました。

このため、日本チームは仁川国際空港に17日13:00までに現地集合して、JTBロータリーデスクの手配によりマイクロバスで会場の清州市にある「ラムダプラザ清州ホテル」に一団として向かうことにしました。ところが、成田発と関空発の仁川行きの便が団体でどうしてもとれず、やむなくこの2空港利用組は金浦空港に行き先を変更。マイクロバスも金浦空港出発に切り替えて、仁川集合組と合流してから清州市に向かうことになりました。

しかし、同行の一行はロータリアンだけに昼食を急取る事に決めて一杯飲み、バスガイドの要を得た案内にも聞き入って、長旅も案外と疲れもなく、17:00前にはホテル着。

ホテルでは地元の韓国チームから拍手で歓迎を受け、すでに到着していた台湾チームと、ホテルで待ち合わせた日本チームの4人もロビーで揃って合流。18:00から参加者全員バス移動して、市

内の宮廷料理屋での歓迎レセプションに臨みました。韓国哨戒艦の沈没事件直後で当方も気を遣いながらも、その帰路に市内の川端に咲き誇る桜並木に感動し、ホテルのバーで両国チームと深夜まで痛飲して、1年ぶりの再会を喜び合いました。

大会は日本から21人、台湾から7人（うち同行家族3人）に、韓国側38人が登録。日本チームは石井良昌 PDG（尼崎西）が田中毅名誉会長の代理として、ほか役員に木村平右衛門、中尾信彦、富本東平、善積敏明4氏が参加。対局者には初段の新藤支部長を旗頭として13人が名を揃え、同行の家族3人も大会登録をしました。

初級者クラスで初の女性対決

18日（日）は9時に開会式があり、李在允会長の開会宣言と記念点鐘で幕を開け、柳韓国支部長が「今後も囲碁を通じて相互の理解と交流を」と歓迎の挨拶。李会長は「囲碁で友情を深めて11年になります。桜に合わせて清州での大会を企画しました。囲碁は80カ国に普及しオリンピック種目で採択が準備され、今年10月の中国・広州アジア大会で正式種目になりました。この流れに乗りG P F Rの国際交流がロータリー発展に大きく寄与し、後進のロータリアンを導くものと思います」と、大会参加者により一層の活動を呼びかけました。

石井名誉会長代理は「友好の輪が広がり大会の成功を祈ります」と挨拶して、新藤日本支部長、游台湾支部長もそれぞれ大会を契機にG P F Rが発展するよう願うと述べました。

安官旭プロ七段が大会ルールと、3クラスで共に上位4人に絞るまで予選が続けられ、18:00までに優勝者を決定する運びの説明があつて、10:00から対局が始められました。今大会で目立ったのは女性の進出でした。我が日本チームにも国際囲碁大会に女性が初出場しました。全国大会に2回参加してくださった岡田直子5級（網代多賀）です。韓国チームも5人の参加です。四段が2人、2段、初段、5級が各1人。日本チームに合わせた布陣でした。特に初級者クラスでは、女性同士の対局が実現しました。大会11回目にして目撃できたことは、女性会員のいない東京RC会員として感慨深い光景でした。大邱囲碁RCから女性だけのRCを分割するという話を聞いていましたが、新クラブはまだとの事です。

私はこの韓国の美人棋士と対局中に「日本の3人が決勝に残ったぞ」という声を耳にしました。驚いてか、この美女にハイヒールで踏みつけられたように敗北を喫しました。

上級者クラスに進出したのは、昨年の神戸大会で優勝した李会長と、日本の山田清六段、大塚和彦六段、加藤碩孝五段の4人。昨秋の全国大会での優勝の加藤五段と準優勝の山田六段が準決勝で当たるにはもったいない感じでした。今回は山田六段が勝ち、加藤五段は「山田さんの上手いサバキにやられました」と、秋の勢いを抑えられた事に脱帽していました。

決勝戦は李会長と山田六段の対戦になり、山田サバキを発揮する前に黒星の裁きを受けてしま

いました。予選で李会長が勝っていただけに、自信を与えていたようでした。惜しかったのは中級者クラスの永田博巳三段です。優勝した徐仁洙四段に予選で対戦し、反目負けで決勝進出を阻まれたのです。何度も戦った相手だけに一層悔しさを味わっていました。

しかし、大会を終えれば、旧知の仲。特に、台湾チームは初級者クラスで3人が勝ち残り、楊敏盛前会長が優勝、游長和台湾支部長が準優勝の栄冠に。台湾チームが優勝者を出したのは大会初の記念すべき業績でした。表彰式後は互いの健闘を称えあって何度も握手攻めにあったり、写真を撮りあったりと、囲碁大会本来の友情の交流となり、その夜行われた地元の中国人ロータリアンが経営する中国飯店での晩餐会でも延々と続けられました。

ソウル観光に繰り出す

19日(月)は新藤日本支部長が急いで帰国の予定であるため、マイクロバスで金浦空港に送り届けた後、団体で夕刻まで明洞などでの繁華街をぶらついてソウル観光を楽しみました。

焼け落ちた南大門跡に衝撃を受け、狭い通路に張り出した市場で売り子の熱い呼び込みとか、巧みな偽ブランド品の悪知恵に恐れ入ったりして、団体行動での楽しみ方を再認識いたしました。ソウルならではの焼肉も堪能しました。

役員と同行家族の7人の方々は18日の大会対局中、地元のロータリアンの案内で清州市内の公園や博物館巡りをして終日観光を楽しみました。「市内で特筆する場所はない」と聞いていたの、奥様方に恐る恐る市内観光について取材したところ「こんなに楽しかった観光旅行はなかった」といいます。聞けば、博識で鳴る中尾信彦氏の迷ガイドで、時間を忘れた楽しさだったとか。前回の台湾大会では、故宫博物館の案内を中尾氏にお願いして、専門のガイドさんより余っ程意義ある楽しい空間をもらっていただけに、悔しさだけ味わった今大会参加より有意義かと思えました。来年の台湾大会が楽しみです。

(GPFR 日本支部幹事 太田清文)

秋の全国囲碁大会のご案内

「第10回ロータリー全国囲碁大会」を下記のとおりで開催いたします。全国大会の参加申込書と振込み用紙をこの会報と一緒に同封しますので、お確かめください。上級者クラス(五段以上)2人の参加でクラブ対抗戦を行います。参加ご希望の方は「参加申込書」にお名前等を明記してFAX(03-3452-1652)でご連絡ください。お問い合わせがありましたら、FAXにてお願い致します。ご連絡を受けましたら、日本支部よりFAXで返信致します。ご家族のご参加も歓迎します。

GPFR は R I 認証団体ですので、大会参加はメイクアップとなります。

日時	平成 22 年 10 月 16 日 (土) 10 時開会式 17 時まで
登録受付	午前 9 時 30 分より 3 クラス制
会場	東京・市谷の日本棋院会館 1 階
登録料	6000 円(賞品、昼食等を含みます)

来春の国際大会は台中市

游長和・台湾支部長は清州大会の席上、次回の「第 12 回ロータリー国際囲碁大会」を来年 4 月頃に台湾で開催し、できれば台湾中部の台中 (タイツオン) 市にしたいと述べました。

年会費納入のお願い

ロータリアンの囲碁仲間を GPFR、にお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位、紹介者を明記して所属のクラブ事務局を通じて FAX で下記の GPFR 日本支部宛に送信をお願いいたします。年会費 2000 円。入会金はありません。GPFR 活動、会則については GPFR のホームページ <http://www.gpfr.jp> をご覧ください。

新年度の年会費を同封の郵便振替用紙 (口座番号 00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛) をご利用のうえ、2010-11 年度会費分として 6 月 30 日 (水) までに 2000 円をご送金ください。

上記ご案内の 10 月 16 日(土)の全国囲碁大会にご参加ご希望の方は同封の郵便振替用紙の通信覧に、「全国大会参加」と明記して大会登録料 6000 円を加えてご送金ください。申し込みの締め切りは 10 月 8 日 (金)。参加申し込みを受け取り次第すぐに大会参加要領を FAX でお知らせ致しますので、ご自宅等のご連絡先の FAX 番号等を必ずお書き添えください。なお、振込み手数料 (100 円) はご負担ください。GPFR は皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い致します。



中級者クラス



初級者クラス



大会役員



晩餐会



金浦—仁川—清州へ



ソウル観光

〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協会館1F
2580地区力バナー事務所内 口タリ一園基同好会
専用FAX 03-3452-1652
日本支部長 新藤信之 幹事 太田清文